

# OU

SAKA UNIVERSITY

## CAMPUS MASTER PLAN 2016

### 大阪大学 キャンパスマスタープラン

2016年（平成28年）版

大阪大学 施設マネジメント委員会

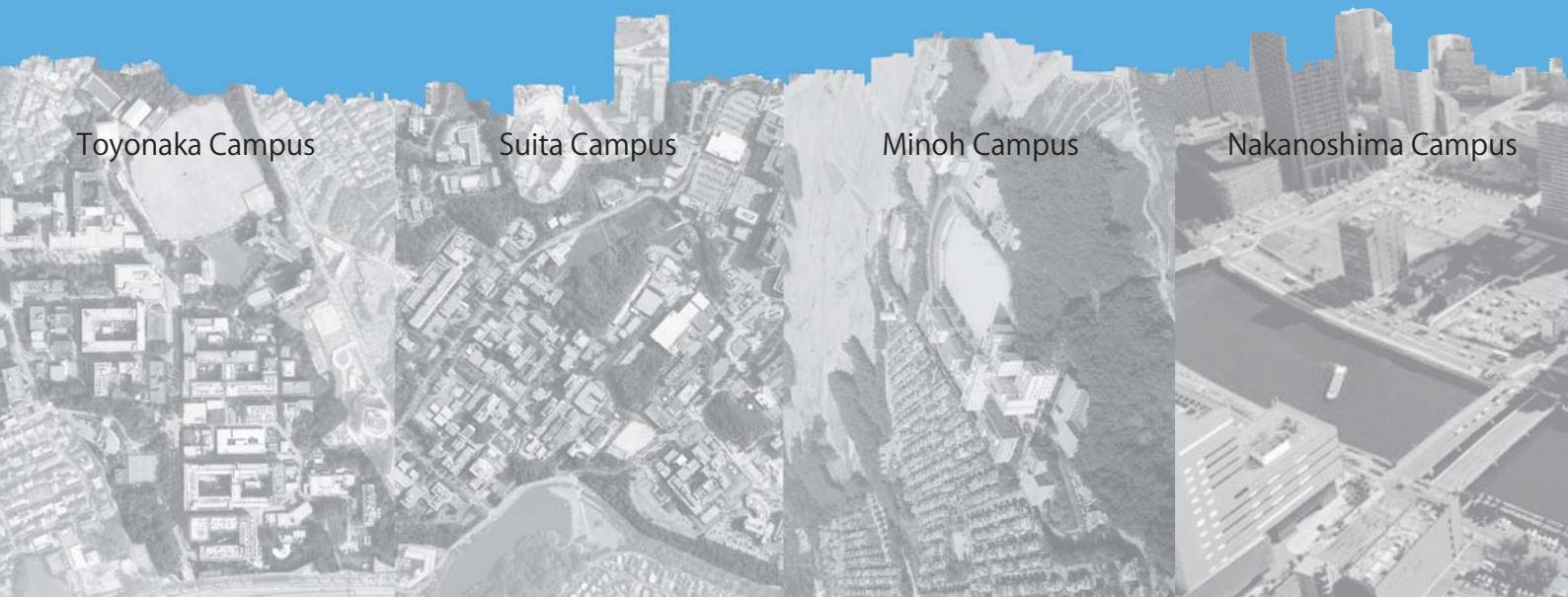
Osaka University Facility Management Committee

Toyonaka Campus

Suita Campus

Minoh Campus

Nakanoshima Campus



大 阪 大 学  
キャンパスマスタープラン  
2018

目 次

**第 1 章** キャンパスマスタープランのコンセプト

1-1.	キャンパスマスタープラン策定の経緯と位置付け	
1-1-1.	はじめに	・・・ 1. 1
1-1-2.	主要キャンパスの概況	・・・ 1. 5
1-1-3.	これまでのキャンパス計画の経緯	・・・ 1. 7
1-1-4.	キャンパスマスタープランの必要性	・・・ 1. 8
1-2.	キャンパスマスタープランのコンセプトとその達成手法	
1-2-1.	キャンパスマスタープランの目標・基本方針	・・・ 1. 9
1-2-2.	キャンパス整備の対象と経費	・・・ 1.10
1-2-3.	キャンパスマスタープランの達成手法	・・・ 1.11
1-3.	キャンパスマスタープランの内容・構成	
1-3-1.	キャンパスマスタープランの内容・構成	・・・ 1.12
1-3-2.	キャンパスマスタープラン作成と運用・更新の流れ	・・・ 1.13

**第 2 章** キャンパスの伸ばすべき個性と空間像の読みとり

2-1.	豊中キャンパスの個性と空間像	・・・ 2. 1
2-2.	吹田キャンパスの個性と空間像	・・・ 2. 1

**第 3 章** キャンパスマスタープランに対する期待と評価検証

3-1.	キャンパスマスタープラン策定作業時の調査・意見集約 (2004 (平成 16) 年度 (豊中・吹田)、2008 (平成 20) 年度 (箕面))	・・・ 3. 1
3-2.	その後の関連する各種調査	
3-2-1.	交通安全アンケート (2010 (平成 22) 年度)	・・・ 3. 6
3-2-2.	第 23 回学生生活調査 (2014 (平成 26) 年度)	・・・ 3. 7
3-2-3.	留学生生活調査 (2010 (平成 22) 年度)	・・・ 3.10
3-2-4.	キャンパスイメージアンケート (2014 (平成 26) 年度)	・・・ 3.11
3-3.	2015 (平成 27) 年度の評価・点検	・・・ 3.14
3-4.	期待と評価検証のまとめ	・・・ 3.18

---

<b>第4章</b>	<b>ゾーンおよび骨格・核の構成</b>	
4-1.	豊中キャンパスの空間像	・・・ 4. 1
4-2.	吹田キャンパスの空間像	・・・ 4. 6

---

<b>第5章</b>	<b>持続可能性と防災のマネジメント</b>	
5-1.	施設やキャンパスが備えるべき環境性能とその達成手法	・・・ 5. 2
5-2.	施設稼働率の向上と総量の適正化を目指す点検評価等のマネジメント	・・・ 5. 5
5-3.	長寿命化へ向けた施設やインフラの維持管理マネジメント	・・・ 5. 6
5-4.	災害に備えるマネジメント	・・・ 5. 9
5-5.	開発限界と長期的な建て替え更新の考え方	
5-5-1.	全般的な建て詰まりの状況	・・・ 5.11
5-5-2.	大規模な建て替え更新の可能性	・・・ 5.13
5-5-3.	集約化と施設総量の適正化による維持管理コストの低減	・・・ 5.14

---

<b>第6章</b>	<b>自然資源の継承と形成</b>	・・・ 6. 1
------------	-------------------	----------

---

<b>第7章</b>	<b>すべての人が安全に快適に移動できる環境の形成</b>	
7-1.	交通ネットワークにおける問題点の整理	・・・ 7. 1
7-2.	豊中キャンパスの交通ネットワーク	・・・ 7. 3
7-3.	吹田キャンパスの交通ネットワーク	・・・ 7. 8

---

<b>第8章</b>	<b>空間計画の達成手法</b>	
8-1.	キャンパスコモンの整備方針の全体像	
8-1-1.	キャンパスコモンの整備構想（リーディングプロジェクト）一覧	・・・ 8. 1
8-1-2.	キャンパスライフを充実させるための福利厚生や課外活動の施設 および宿舍施設等の考え方	・・・ 8. 9

8-2.	キャンパスコモンの整備（リーディングプロジェクト）の各構想		
	(LDP. T/S/M-1) キャンパスライフを支援する福利厚生施設のあり方（共通）	・・・	8. 16
	(LDP. T-2) 豊中キャンパスのシンボル空間の形成（豊中）	・・・	8. 18
	(LDP. T-3) 待兼山博物館と周辺環境の整備（豊中）	・・・	8. 20
	(LDP. T-4) 柴原通り周辺の空間再編（豊中）	・・・	8. 22
	(LDP. T-6) キャンパス中央部へのバスロータリーの建設（豊中）	・・・	8. 24
	(LDP. S-2) 吹田キャンパスのシンボル空間の形成（吹田）	・・・	8. 26
	(LDP. S-3) 千里門周辺環境整備（吹田）	・・・	8. 28
	(LDP. S-4) 理工学図書館前オープンスペースの再生（吹田）	・・・	8. 30
	(LDP. S-6) 千里門～西門府道交通環境の改善（吹田）	・・・	8. 32
	(LDP. S-7) 银杏会館南側の新たな東西歩行者動線の形成（吹田）	・・・	8. 34
	(LDP. S-8) 北口の活用と近傍への店舗誘致（吹田）	・・・	8. 35
	(LDP. S-15) 万博記念公演との接続（吹田）	・・・	8. 36
	(LDP. S-16) キャンパス南側への拡張と課外活動施設の再編（吹田）	・・・	8. 37
	(LDP. S-19) 緑地環境の改善（吹田）	・・・	8. 38
8-3.	デザインガイドライン		
	8-3-1. デザインガイドラインの枠組み	・・・	8. 39
	8-3-2. 建物（新営・増改築・改修）のデザインガイドライン	・・・	8. 40
	8-3-3. オープンスペースのデザインガイドライン	・・・	8. 42
	8-3-4. ユニバーサルデザインと日常の安全・安心	・・・	8. 44
	8-3-5. 多文化・多言語への対応	・・・	8. 46
	8-3-6. 豊中キャンパスでの適用	・・・	8. 49
	8-3-7. 吹田キャンパスでの適用	・・・	8. 51
	8-3-8. 計画のプロセスと要点	・・・	8. 57
8-4.	多様な参加を促すマネジメント		
	8-4-1. サポート型（参加・提案型）の取り組みと 地域・社会等と連携する取り組み	・・・	8. 60
	8-4-2. キャンパスのマネジメントとして特に強化すべきこと	・・・	8. 62

## 第9章 今後の課題

9-1.	新箕面キャンパス整備	・・・	9. 1
9-2.	中之島キャンパス	・・・	9. 2
9-3.	医学部附属病院再開発	・・・	9. 2
9-4.	地区計画	・・・	9. 3
9-5.	キャンパスのスマート化	・・・	9. 3
9-6.	広報とユーザー参加による点検評価（アンケート等）の強化や地域との連携	・・・	9. 4
9-7.	豊中キャンパスにおける通学路ラッシュや自転車と駐輪の取り扱い	・・・	9. 4

# 付録

1. 低炭素・省エネルギーへの取組みにおける基本計画 . . . 付録. 1
2. 緑のフレームワークプラン . . . 付録. 2

## コラム目次

<b>Column 1</b>	<b>世界のキャンパス (1)</b>	<b>1.14</b>
	～ 本学の参考になりやすい代表的な米国型キャンパス	
<b>Column 2</b>	<b>世界のキャンパス (2)</b>	<b>2.10</b>
	～ フレームワークプランによる魅力的なキャンパス環境形成	
<b>Column 3</b>	<b>世界のキャンパス (3)</b>	<b>3.20</b>
	～ 土地建物の有効活用とヒューマンスケールのキャンパスづくり	
<b>Column 4</b>	<b>サステナビリティの潮流とキャンパスマスタープラン</b>	<b>4.10</b>
	～ 省エネ・省資源から社会全体のサステナビリティへ	
<b>Column 5</b>	<b>文部科学省の施策と本学のキャンパスマスタープラン</b>	<b>5.11</b>
<b>Column 6</b>	<b>キャンパスづくりへの多様な主体の参加</b>	<b>5.12</b>